

令和 8 年 度

九州大学大学院理学府修士課程

学 生 募 集 要 項

(第 2 次)

化学専攻



1. 募 集 人 員

専 攻	募集人員	専門分野等	
		専門分野	研究グループ
化 学 専 攻	若干名	無 機 ・ 分 析 化 学	錯 体 化 学 学 学 学 学 錯 体 分 析 化 学 学 学 学 生 体 光 射 性 錯 体 化 学 分 放 機 能
		物 理 化 学	分 散 系 物 理 化 学 学 学 学 学 理 論 子 物 理 化 学 学 学 学 量 光 構 造 ト 界 面 化 学 ソ フ
		有 機 ・ 生 物 化 学	触 媒 有 機 機 化 学 学 学 学 学 生 動 的 生 機 能 生 物 子 心 媒 学 (兼 担) 構 造 子 体 分 反 触 析 化 学 量 生 機 体 分 析 化 学 生 有 生 体 分 析 化 学 生 生 体 分 析 化 学
		先 導 物 質 化 学	ナ ノ 物 性 化 学 学 学 学 光 ノ 機 能 物 質 化 学 学 学 ナ ノ 機 能 機 能 機 能 化 学 構 造 有 能 能 能 能 能

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者。ただし、本学府修士課程にすでに合格している者の出願は認めません。出願前に入学辞退届を提出した者はこの限りではありません。

- (1) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学の卒業者及び令和 8 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び令和 8 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 8 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本学府が個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 8 年 3 月 31

日までに 22 歳に達した者

- (11) 令和 8 年 3 月 31 日までに次のいずれかに該当する者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた者
- ① 学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者
 - ② 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (12) 本学府修士課程にすでに合格していたが、出願前に入学辞退届を提出した者で、再受験に相応しい理由があると認めた者

3. 出願資格の事前審査

出願資格(9),(10),(11)又は(12)により出願しようとする者は、願書を受理する前に出願資格の有無に関する審査を行いますので、次により書類を取りそろえ、事前審査受付期間内に理学部等事務部教務課学生支援係へ提出してください。（郵送の場合は、必ず書留郵便とし、封筒表面に「理学府修士課程事前審査申請書類在中」と朱書してください。）なお、必ず、事前に志望研究室教員に相談の上、事前審査を申し込んでください。

(1) 事前審査に必要な書類

出願資格(9),(10)により出願しようとする者

- ①出願資格事前審査申請書（本学府所定の用紙を使用してください。）
- ②学校教育等履歴書（本学府所定の用紙を使用してください。）
- ③当該学校等の成績証明書
- ④大学を卒業した者と同等以上の学力があることを証明できる書類（例えば研究論文、特許公報、英語能力の証明書、各種資格取得証明書、国際的活動経験や実務経験を証明する書類等）
- ⑤志望理由書（A4 判用紙 1 枚（1,000 字程度）、博士後期課程進学希望の有無も記入してください。様式自由。）
- ⑥出願資格事前審査結果通知用封筒（封筒（長形 3 号）に宛先を明記し、郵便切手 110 円分を貼ってください。）

出願資格(11)により出願しようとする者

- ①出願資格事前審査申請書（本学府所定の用紙を使用してください。）
- ②出身大学長（学部長）が発行する成績証明書
- ③推薦書（本学府所定の用紙（様式 1）に学部長、学科長等が記入の上、厳封）
- ④志望理由書（A4 判用紙 1 枚（1,000 字程度）、博士後期課程進学希望の有無も記入してください。様式自由。）
- ⑤出願資格事前審査結果通知用封筒（封筒（長形 3 号）に宛先を明記し、郵便切手 110 円分を貼ってください。）

出願資格(12)により出願しようとする者

- ①出願資格事前審査申請書（本学府所定の用紙を使用してください。）
- ②出身大学長（学部長）が発行する成績証明書
- ③推薦書（本学府所定の用紙（様式 2）に出身大学の学科長が記入の上、厳封）
- ④志望理由書（A4 判用紙 1 枚（1,000 字程度）、博士後期課程進学希望の有無も記入してください。様式自由。）
- ⑤出願資格事前審査結果通知用封筒（封筒（長形 3 号）に宛先を明記し、郵便切手 110 円分を貼ってください。）

(2) 事前審査受付期間

令和7年12月15日(月)～12月19日(金)午後5時まで
(郵送の場合も同日同時刻までに必着とします。)

(3) 事前審査の結果は、令和8年1月7日(水)頃に、本人宛に通知します。

4. 出 願 方 法

出願期間(インターネット出願システムへの入力期間)

令和8年1月9日(金)午前10時から同年1月15日(木)午後5時まで

(1) 出願手続等

出願手続は、上記期間中にインターネット出願システムへの入力により行います。

なお、必ず、事前に志望研究室教員に相談の上、出願手続きをしてください。

https://www.sci.kyushu-u.ac.jp/admission/daigakuin_oshirase.html

- ① 出願期間中に、出願完了のボタンを押し、出願を完了させてください。出願完了のボタンを押さないと、出願が完了したことになりません。出願手続き完了後、インターネット出願システムに登録したメールアドレス宛に、出願が完了した旨のメールが届きますので、メールが届いたことを必ず確認してください。
- ② 出願完了のボタンを押す前に上記出願期間が過ぎた場合には、出願は受け付けられませんので、注意してください。
- ③ 出願書類等に不備のあるものは受理しません。
- ④ 出願後は、出願の取下げ及び出願書類等の記載事項の変更を認めません。また、出願書類等及び入学検定料は、返還しません。
- ⑤ 願書受付締切り後の出願資格確認を経て、出願を受理した場合は、インターネット出願システムにより受験票を表示します。受験票の表示開始は、インターネット出願システムに登録したメールアドレス宛にお知らせします。

なお、受験にあたり必要な情報はインターネット出願システムに登録したメールアドレス宛てにお送りしますので、出願後はメールをよく確認してください。

受験票は、インターネット出願システムからダウンロードし、受験当日までに必ず印刷しておいてください。

(2) 提出書類

※アップロードする書類は、明瞭なものとしてください。

※アップロード可能な各ファイルサイズの上限は、それぞれ 20 MB です。

☐	①入学願書・志望専門分野等調査	インターネット出願システムに必要事項を入力すること。
--------------------------	-----------------	----------------------------

☐	②卒業（見込）証明書 又は学位授与（見込）証明書	出身大学が発行するもの、又は大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与（見込）証明書 （注）出願資格(9)(10)又は(11)により出願する者は除きます。 PDF にして、インターネット出願システムにアップロードすること。 ※ 九州大学理学部在籍中で令和 8 年 3 月卒業見込みの者又は九州大学理学部卒業者は提出不要です。 ※ 入学手続の際は、原本の提出が必要です。
☐	③成績証明書	出身大学長（学部長）が発行するもの （注）出願資格(10)により出願する者は除きます。 PDF にして、インターネット出願システムにアップロードすること。 ※ 九州大学理学部在籍中で令和 8 年 3 月卒業見込みの者又は九州大学理学部卒業者は提出不要です。 ※ 入学手続の際は、原本の提出が必要です。
☐	④顔写真データ	インターネット出願システムにアップロードすること。 ・3 か月以内に撮影した志願者本人が判別できるもので、正面上半身無帽（サイズの比率は縦 4：横 3）のものとする。 ・使用できるデータは、png, jpg, jpeg 形式のものとする。
☐	⑤入学検定料 （検定料 30,000 円）	振込の控えを PDF にして、インターネット出願システムにアップロードすること。 検定料の振込方法については、「(3) 入学検定料」および本要項に掲載の「九州大学入学検定料払込方法」を参照すること。
☐	⑥TOEIC の成績証明証	PDF にして、インターネット出願システムにアップロードすること。 併せて、受験時に成績証明証の原本を持参してください。（願書提出時に成績証明証が間に合わない場合も同様、受験時に持参すること。） <u>受験時に原本を持参しなかった場合、英語の成績は 0 点とします。</u> なお、添付した成績証明証の得点より高得点の原本がある場合には、当日原本と差替えることができます。 また、デジタル公式認定証を印刷したものを、紙媒体の認定証と同様に原本として受け付けます。 詳しくは、6 ページの TOEIC に関する注意事項を参照してください。
☐	⑦志望理由書	A4 判用紙 1 枚程度の志望理由書（本人氏名、今まで勉強してきたことと志望動機との関連、博士後期課程への進学希望の有無を含む。様式自由）を PDF にして、インターネット出願システムにアップロードしてください。

(3) 入学検定料

納付可能期間 令和 7 年 12 月 12 日（金）～ 令和 8 年 1 月 15 日（木）

入学検定料は、e-支払いサイト (<https://e-shiharai.net/>) へ事前申込の上、①コンビニエンスストア、または②コンビニエンスストア以外（クレジットカード等）により納付すること。

なお、振込手数料は、志願者が負担してください。

【① コンビニエンスストアで決済した場合】

「入学検定料・選考料・取扱明細書」を PDF にして、インターネット出願システムにアップロードすること。

【② コンビニエンスストア以外で決済した場合】

「申込内容照会」の照会結果を PDF にして、インターネット出願システムにアップロードすること。

(お願い) e-支払いサイトにおける手順等に関するご質問については、同サイト上の「FAQ」または「よくある質問」 (<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>) を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。

(注意) その他必要事項が「8. 出願者に対する注意事項」に記されているので、必ず指示に従ってください。

5. 専門分野・研究グループの志望

- a. 研究グループのうちから、第1から第5志望を指定することができます。
- b. 志望専門分野等調査の登録にあたっての注意事項
インターネット出願システム上で、志望専門分野等調査の志望研究グループ欄に理学府概要の表(9ページ)に従って研究グループのうち5つまでを第1から第5志望として登録してください。
第1志望は登録必須項目です。

志望専門分野等調査における研究グループの登録例

	志望研究グループ
第1志望	錯体化学
第2志望	光物理化学
第3志望	分散系物理化学
第4志望	触媒有機化学
第5志望	ナノ物性化学

(説明)

登録例 第1志望として錯体化学、第2志望として光物理化学、第3志望として分散系物理化学、第4志望として触媒有機化学、第5志望としてナノ物性化学、を希望した場合の登録例。

○研究グループの選択にあたっては「16. 九州大学大学院理学府化学専攻概要」を参照してください。出願手続きの前に志望研究グループの教員と研究内容等について相談して下さい。

6. 選 抜 方 法

口頭試問、TOEIC 及び出身大学長(学部長)が発行する成績証明書によって合否を判定します。

7. 学 力 検 査 科 目

入学者の選抜は下記により合否を判定します。

- (1) 口頭試問

- (2) 英語(英語科目は受験者の TOEIC の成績をもとに評価します。)

※TOEIC に関する注意事項

- (1) TOEIC の成績証明証の発行が願書提出期間に間に合うように受験してください。
間に合わない場合は、少なくとも学力検査受験時に成績証明証(原本)を持参できるよう受験してください。
- (2) 大学院修士課程入学試験の受験を希望する者は、(ア) TOEIC Listening & Reading Test, (イ) TOEIC Speaking & Writing Tests のいずれかを事前に受験してください。顔写真のない成績証明証(TOEIC-IP テスト等)及び (ア), (イ) 以外の成績証明証の提出は認めません。
- (3) 大学院修士課程入学試験の日から遡って 2 年以内の TOEIC の成績証明証を有効とします。
- (4) TOEIC の成績証明証は、受験者が自分に最も有利と考える 1 つを提出してください。なお、添付した成績証明証の得点より高得点の原本がある場合には、当日その原本を持参することにより、成績を差し替えることができます。何れの場合も、受験時に原本を持参しなかった場合、英語の成績は 0 点としますので注意してください。
- (5) 英語試験全般に関する質問がある場合や身体の障害等で TOEIC の受験が困難な場合は、事前に理学部等事務部教務課学生支援係(092-802-4038)へ問い合わせてください。

8. 考査方法, 日時と場所

	考 査 方 法		月 日 (曜)	時 間	場 所
	口頭試問	化 学	2 月 9 日 (月)	午前9時30分から	九州大学 大学院理学府 (伊都キャンパス)

9. 合 格 者 発 表

令和8年3月6日(金) 午前10時

伊都キャンパスのウエスト1号館C棟2階エントランスホールの掲示板に合格者の受験番号を掲示し、合格者宛て「合格通知書」をインターネット出願システムに登録された住所へ郵送します。

また、理学府のホームページにも合格者の受験番号を掲載します。

なお、合格、不合格についての電話等による問い合わせには一切応じません。

10. 入 学 予 定 日

令和8年4月1日

11. 入 学 手 続 等

(1) 入学手続きの際に納付する経費

入学料 282,000 円（予定）

授業料前期分 267,900 円〔年額 535,800 円〕（予定）

※上記納付金額は予定であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

(2) 手続関係

【入学手続き書類の配付】

令和 8 年 3 月 9 日（月）頃に、合格者宛て入学手続き関係書類をインターネット出願システムに登録された住所へ郵送します。

【入学手続き期間】

令和 8 年 3 月上旬～中旬の間で期間を設定します。詳細は、入学手続き書類でご確認ください。

12. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願前のなるべく早い時期に理学部等事務部教務課学生支援係まで相談してください。

なお、令和 7 年 12 月 9 日（火）までに連絡がない場合、受験上の配慮が講じられない場合もありますので十分注意してください。

13. 長期履修制度について

本学では、学生が職業を有する、あるいは障害がある等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度を導入しています。

この制度の適用を申請し認められた場合、標準修業年限分の授業料を長期履修の年数で除した額を毎年納入することになります。

なお、手続等の詳細は、入学手続き時に通知します。

14. 備 考

出願手続後の書類の変更、検定料の払い戻しはできません。

○ 出願書類における個人情報の保護について

1. 出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用します。
- (2) 大学の成績証明書を、1年次における授業料免除等の修学支援業務で利用します。
2. 入学者選抜で利用した成績等の個人情報は、個人が特定できないように本学府における入学者選抜に関する調査研究で利用します。
3. 出願書類に記載の個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」その他関連法令に認められる場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

【提出先・お問い合わせ先】

〒819-0395 福岡市西区元岡 744
九州大学理学部等事務部教務課学生支援係
TEL. 092-802-4038 (ダイヤルイン)

15. アドミッションポリシー

化学専攻

原子から小分子、複雑な分子、高分子、さらに生体を構成する高分子にいたる様々な階層の物質構成単位の性質や挙動について、それらの単独から集合体に至るまでの幅広いスケールで取扱う基本原理を、化学的な物質観に基づいて教育・探求します。最先端の理論及び実験手法を用いることで、独創的な研究を遂行する能力を身につけ、将来、化学の研究、教育、技術開発および生産の分野で活躍できる専門家の育成を目指しています。

このような観点から、化学の分野で将来、指導的役割を果たす研究者、教育者、あるいは技術者として人類社会に貢献したいという強い熱意と適性をもつ学生を募集します。試験には一般選抜試験と自己推薦方式による選抜試験の2通りがあり、幅広い教養、自然科学の基礎学力に加えて、専門化学を習得するために不可欠な基礎学力を持つ志願者を選抜します。前者では外国語（英語）の能力と専門化学の基礎知識等を筆記試験により評価します。一方、後者では、優秀な資質を持つ個性豊かな学生を受け入れることを目的とした書類審査と面接試験による選抜試験を行います。学部で化学を専門とした学生については、外国語（英語）の能力と専門化学の基礎知識に加えて、論理的思考能力や自然現象に対する洞察力を、一方、学部で化学を専門としていない学生に対しては、自然科学の基礎知識の有無と専門化学への適性を判断材料として可否を判定します。

修士課程を修了し、博士後期課程へ進学または入学する場合、総合的な専門化学の知識を広く有し、国際化に対応できる資質と熱意を兼ね備えた学生を選抜します。

16. 九州大学大学院理学府化学専攻概要

専攻	専門分野	研究グループ	研 究 内 容	教 員	
				教 授	准 教 授
化 学 専 攻	無機・分析化学	錯 体 化 学	太陽光エネルギー変換、水素エネルギー製造、燃料電池などに関わる金属錯体を基盤とした光触媒反応、および酸化還元触媒反応の開発。特に、水の可視光分解反応を用いた人工光合成の研究。色素分子フタロシアニン類の金属錯体合成と電気化学的・分光学的特性の研究。新規かご型シルセスキオキサン合成と機能性評価に関する研究。	**酒 井 健	小 澤 弘 宜 **岡上吉広(講師)
		錯 体 物 性 化 学	金属錯体を基盤とする新規分子集合体の構造と磁性、電気物性及び機能の研究。動的構造と物性の相関の研究。外場応答性化合物の開発。多孔性化合物の吸着特性の研究。脂質膜と金属錯体による機能性空間の研究。異方的な場における新奇物性、機能の研究。	大 場 正 昭	大 谷 亮
		生 体 分 析 化 学	分析化学および有機化学を駆使した、膜タンパク質を含む生体膜における相互作用解析法の開発。超微量分析を目指したオミックス解析法の開発。これらの手法を、麻酔作用機構解明や薬物動態解析、疾病診断へと応用。	松 森 信 明	川 井 隆 之 鳥飼浩平(講師)
		分 光 分 析 化 学	超短パルスレーザーを用いた最先端の分光分析手段の開発とそれを用いた人工光合成、光触媒、有機エレクトロニクスなどの各種機能物質の動的過程、構造の実時間、分子レベルでの解明。	恩 田 健	宮 田 潔 志
		放 射 化 学	原子力分野のフロントエンドとバックエンド、原子炉水化学、核医学、あるいは核融合分野のフロントエンドに関わる放射性同位元素を含む金属元素の分離・濃縮化学。軽元素から超ウラン元素までの分離・濃縮機構に関する平衡論・速度論的研究と予測モデルの構築。		■立 花 優
		機 能 性 錯 体 化 学	エネルギー変換を担う機能性金属錯体に関する研究。特に、電気/光化学的な水素生成または二酸化炭素還元反応を駆動する分子性触媒開発。		\$ 山 内 幸 正
	物 理 化 学	分 散 系 物 理 化 学	両親媒性高分子、高分子ゲルをモデル化合物とした生体機能の分子物理化学的解明。生体由来高分子ゲル（眼水組織・軟骨）の構造・物性と機能の解明。高分子ゲルの表面摩擦のダイナミクス。	**安 中 雅 彦	横 靖 幸
		理 論 化 学	分子及び分子集合体の電子構造と化学反応の理論的研究。特に、新しい電子構造理論の開発とその応用、溶液系/生体分子系のダイナミクス計算手法の開発と応用、量子コンピュータ上での量子化学計算アルゴリズムの開発。	中 野 晴 之	渡 邊 宙 志 渡 邊 祥 弘(講師)
		量 子 化 学	質量分析法、レーザー分光法による原子分子クラスターの物性・反応性研究を基軸とするナノ物質科学の実験研究。	***寺 寄 亨	堀 尾 琢 哉
		光 物 理 化 学	分子科学、レーザー光学、情報科学の融合による新しい分子イメージング法の開発と先端材料・生細胞・生体組織の分子レベル可視化。	平松 光太郎	
		構 造 化 学	金属イオンおよび芳香族分子の溶媒とならびに金属イオンと生体関連分子の相互作用に関する分光学的研究。		***大 橋 和 彦
		ソ フ ト 界 面 化 学	ソフトな界面における界面活性物質の吸着単分子膜および脂質二分子膜の状態と構造に関するコロイド・界面化学的研究。	◆瀧 上 隆 智	
	有 機 ・ 生 物 化 学	触 媒 有 機 化 学	均一系触媒及び不均一系触媒を用いた有機合成、基礎化学品および炭素資源変換反応。不斉合成反応の開発と速度論的研究。	徳 永 信	山 本 英 治
		生 物 有 機 化 学	生物活性天然有機化合物の構造決定と全合成研究。作用標的分子の探索と生物活性発現機構の解明。生物活性分子の設計と合成を基盤とした構造活性相関研究。	大 石 徹	土 川 博 史
		動 的 生 命 化 学	有機合成化学と遺伝子工学の技術を共に用いて、タンパク質、核酸、糖鎖及び脂質が制御する生命現象を明らかにするケミカルバイオロジー研究。	堀 雄一郎	弓 本 佳 苗
		構 造 機 能 生 化 学	核内受容体およびオピオイド受容体のリガンド/受容体の相互作用と構造活性相関に関する研究。ハロゲン含有環境化学物質による核内受容体の転写制御および実験動物の活動リズム変化の分子機構解明。	松 島 綾 美	
		量 子 生 物 化 学	統計力学を用いた分子論的描像に基づく溶液の性質とその中での化学反応の研究。特に表面及び蛋白質、核酸などの生体分子を舞台にして起こる、吸着（他分子の認識）、電子移動、光応答等の理論的研究。		秋 山 良
		生 体 分 子 化 学	生理活性物質の理論的分子デザイン法に関する研究。機能性ペプチドの開発研究。化学物質の酵素や受容体に対する結合性解析法に関する研究。	◆野 瀬 健	
		有 機 反 応 化 学	環境に適応した有機化合物変換反応に関する研究。遷移金属触媒とそれを用いた立体・化学・反応位置制御法の開発		◆内 田 竜 也
		生 体 触 媒 化 学	天然物合成経路における新規化学反応の探索。金属酵素、ラジカル酵素触媒機構の解明。酵素の精密機能制御による生体触媒の開発。		&牛丸 理一郎
		生 体 分 析 化 学 (兼 担)	有機化学および分析化学を駆使した、膜タンパク質を含む生体膜における相互作用解析法開発。生体膜を解析するための分子プローブ開発および生体関連分子の合成。これらの手法を、膜作用性薬剤の分子機構解明や創薬へと応用。	松 森 信 明	川 井 隆 之 鳥飼浩平(講師)
		ナ ノ 物 性 化 学	化学、物理、生物の境界領域研究。金属・酸化物・半導体ナノ材料とソフトマテリアルとの界面における局所的な相互作用や協同現象の解明とその応用。プラズモン共鳴によるナノ光制御とバイオセンシング。	**☆玉 田 薫	☆有 馬 祐 介
	先導物質化学	光 機 能 物 質 化 学	特異な光、磁気、電子、メカニカル機能を有する分子性物質の開発と物性の解明。光に応答する分子性機能物質の開発。光磁性体、光応答性量子磁石の開発。	☆佐 藤 治	
		ナ ノ 機 能 化 学	ナノスケール材料の創製（金属、合金、酸化物、錯体）と物質変換、エネルギー変換、物質貯蔵、イオン伝導、磁性、量子拡散に関わる新機能発現。	☆▼山 内 美 穂	▼小 林 浩 和
		構 造 有 機 化 学	新規バイ電子系化合物の合成と構造に関する研究。新規超分子集合体の構築機能に関する研究。光を用いる物質変換法の開発。		☆ 谷 文 都

**は令和9年3月末日定年退職予定
***は令和10年3月末日定年退職予定

◆ 基幹教育院
☆ 先導物質化学研究所
▼ ネガティブエミッションテクノロジー研究センター
■ アイソトープ統合安全管理センター
& 高等研究院、稲盛フロンティアプログラム教員
(令和12年1月末で任期満了予定、更新の可能性有)
\$ 高等研究院、稲盛フロンティアプログラム教員
(令和12年3月末で任期満了予定、更新の可能性有)

17. 2つの専攻横断型プログラムについて

理学府では、各専攻での専門教育に加えて、専攻横断型プログラムがあり、これら2つを重ねた重層的な教育を行っています。ここではこの専攻横断型プログラムについて説明することにします。

理学府は、国際的な場で活躍できる広い視野を持った先端的研究者と高度な能力と学識を備え社会の広い分野で活躍する高度な専門家を育成することを目的としています。この2つの人材養成目的に対応しているのが、2つの並列した専攻横断型大学院教育プログラム、「フロントリサーチャー育成プログラム」（以下、FRプログラム）と「アドバンスサイエンティスト育成プログラム」（以下、ASプログラム）です。理学府に入学した学生は、各専攻での専門的な教育に加え、全員がどちらかのプログラムに所属し、それぞれが目指す方向に合致した教育を受けることになります。専攻における高度な専門教育と専攻を横断した人材養成目的に応じた教育との調和ある重層的な教育により、社会が要請する多様な人材の養成を目指そうというところが、本教育システムの最大の特徴で、このような教育システムは国内の大学院では類を見ないため、様々な方面から注目を集めています。

FRプログラムは先端的研究者を目指す学生用のプログラムで、博士後期課程までの5年間の教育プログラムです。研究者にとって必要な資質を伸ばすための授業等が配当されるとともに、指導体制にも工夫を加えています。このプログラムの大きな特色として、まず指導体制が挙げられます。研究指導は主指導教員だけでなく、他の複数の教員（他専攻教員を含む）を含めた「アドバイザーコミッティー」から受けることになります。これは、複数の教員の指導を受けることで、広い視点から研究を行い、また学生自身にも広い視野を持つてもらうために取り入れた体制です。授業科目としては、広い研究背景のなかで、自ら課題を企画し問題を解決する能力の養成を目的とする「リサーチマネジメント」や、これまでの研究を調査し、それらを論理立てて記述する能力を育てる「リサーチレビュー」、研究計画を立て、それをうまく発信できる能力をつけるための「リサーチプロポーザル」などの科目があります。さらに英語での発表や論文作成の力をつける「英語表現」などの科目もあります。海外・国内での学会発表を積極的に支援したり、学生が中心となったシンポジウムも奨励しています。このようななかで、21世紀を担う先端的な科学者の養成を行おうとしています。

一方、ASプログラムは高度専門家を育成することを目的とし、その資質を伸ばすための授業等が配当されています。社会へ出る人が多いので、修士課程2年と博士後期課程3年のプログラムに分かれています。博士後期課程の内容はFRプログラムと共通な点が多いので、ここでは修士課程プログラムの主要なポイントだけを述べることにします。ASプログラムでも複数の教員からなる「指導教員チーム」が学生指導を行います。FRプログラム同様、複眼的な視点を身につけるようにしてほしいとの考えに基づいています。ただし、FRプログラムと違って、他専攻の教員は必ずしも含まれません。FRプログラム科目の「リサーチマネジメント」に対応する科目が「リサーチアドミニストレーション」で、セミナー等を通して問題点を自ら設定・解決する能力を養うことを目的としています。また「リサーチレビュー」も必修となっています。他のプログラム科目としては、「インターンシップ」、「広域基礎科学」、様々な分野の外部講師による「先端学際科学」などがあり、社会との接点を広く構築するために多様な科目が備えられています。さらに、年ごとに多彩に開設される大学院全体の共通科目から選択することも可能です。これらは大きな括りのなかで自由に選択することができ、様々な方面での高度専門家をを目指す学生個々の方向性に従い、色々な科目を組み合わせることで履修することができるよう工夫されています。英語はアドバンスな「英語表現」（FR科目の「英語表現」とほぼ同じですが会話が重視されています）と一般的な「英語演習」のどちらかが選択できるようになっています。このように、カリキュラムに大きな自由度を持たせることで将来の職業を見越した科目選択ができるとともに、全体として高度専門家に必要な能力を涵養できるようになっています。

九州大学 入学検定料払込方法

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

<https://e-shiharai.net/>



- ※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。
- ※クレジットカード・銀聯ネットは決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。
- ※確定画面に表示される番号をメモしてください。



2 お支払い

セブン-イレブン

【払込票番号:13ケタ】

●レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

ファミリーマート

【お客様番号:11ケタ】 【確認番号:4ケタ】

マルチコピー機へ

↓

代金支払い

↓

番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】入力

ローソン・ミニストップ

【お客様番号:11ケタ】 【確認番号:4ケタ】

Loppiへ

各種サービスメニュー

↓

各種代金・インターネット受付

↓

各種代金お支払い

↓

マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】入力

ページ対応ATM

ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

「税金・各種料金(ページ)」

を選択

↓

収納機関番号に【58021】と入力

↓

【お客様番号】【確認番号】を入力

↓

支払方法を選択

(現金またはキャッシュカード)し、

検定料をお支払い

ネット専門銀行

楽天、auじぶん、PayPay銀行他

お申し込み確定画面から

『ネットバンクでの支払い』

をクリック

↓

支払う銀行を選択して、

インターネットバンキングにログイン

※一度、ブラウザを閉じてしまった場合は、E-支払いサイトの「申込内容照会」からログインしてください。その際には、14ケタのお客様番号が必要です。

↓

払込内容を確認し、

検定料をお支払い(口座引落扱い)

ページ対応ネットバンク

ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

ネットバンキングにログインし、

「税金・各種料金の払込(ページ)」

をクリック

↓

収納機関番号に【58021】と入力

↓

【お客様番号】【確認番号】を入力

↓

画面上で金額を確認し、

検定料をお支払い(口座引落扱い)



※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

Web申込みの際に、支払いに利用するカードを選択
↓
画面の指示に従い、支払手続を行ってください。

レジで代金を支払い、「入学検定料・選考料取扱明細書」を受け取ってください。

支払い完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された「受付番号」と「生年月日」を入力して【**収納証明書**】を印刷してください。
※プリンタのある環境が必要です。PDFにして出願システムにアップロードする。

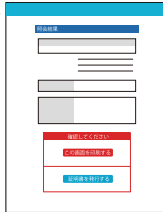
3 出願

【コンビニエンスストア以外でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して出願書類に同封して出願。PDFにして出願システムにアップロードする。

＜注意＞
スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。

※当サイトにてお支払いされた場合、「取扱金機関出納印」は不要です。

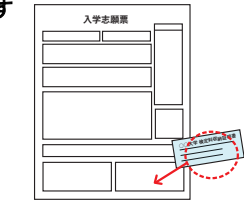


【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、**入学検定料収納証明書貼付台紙**の所定欄に貼る。をPDFにして出願システムにアップロードする。



※「収納証明書」を貼付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている欄はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



※コンビニでお支払いされた場合、「取扱金機関出納印」は不要です。

⚠ 注意事項

- 出願期間を要項等で確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時に支払いが完了します。23:00までにお手続きしてください。
- 「入学検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 一度お支払いされた入学検定料は返金できません。
- セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート以外でお支払いの方は、支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、【**収納証明書**】を印刷して出願書類に貼付してください。PDFにして出願システムにアップロードしてください。
- 「申込内容照会」で収納証明書が印刷できるのは、セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート以外でお支払いされた場合に限りです。
- 入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 銀聯でお支払いの方は、パソコンからお申込みください。(携帯電話からはお支払いできません)
- 取扱いいコンビニエ、支払方法は変更になる可能性があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

20 年 月 日

九州大学大学院理学府長 殿

(申請者) 大 学 名

(又は, 最終学校名)

学 部 名

学 科 名

現 住 所

氏 名

出 願 資 格 事 前 審 査 申 請 書

このたび貴学府修士課程入学試験に出願するに先立ち，出願資格の事前審査を受けたく，関係書類を添えて申請いたします。

20 年 月 日

九州大学大学院理学府長 殿

大学 学部 学科長

推 薦 書

下記の者を，令和8年度九州大学大学院理学府修士課程学生募集要項出願資格 (11) に該当する成績優秀である者として推薦します。

記

在学期間 年度入学， 年 3 月末日で か年

氏 名

要 件 3 年次末までの，必要な単位を修得する見込みの者。

20 年 月 日

九州大学大学院理学府長 殿

大学 学部 学科長

推 薦 書（案）

下記の者を，令和8年度九州大学大学院理学府修士課程学生募集要項出願資格(12)に該当する者として推薦します。

記

氏 名

要 件 再受験に相応しい理由がある者

令和8年度 九州大学大学院理学府

学校教育等履歴書

氏 名	生年月日	年	月	日生
-----	------	---	---	----

【学 歴】

学 校 名 及 び 所 在 地	正規の修学年数	入学及び卒業年月	学位・資格
学校名		入 学	
所在地	年	卒 業	
学校名		入 学	
所在地	年	卒 業	
学校名		入 学	
所在地	年	卒 業	
学校名		入 学	
所在地	年	卒 業	
学校名		入 学	
所在地	年	卒 業	

注) 小学校から記入してください。
上欄に書ききれない場合には、A4用紙に記入して添付してください。

【職 歴】

勤 務 先	職 務 内 容	勤 務 時 間
		自 至
		自 至
		自 至

注) 虚偽の事項を記載し、又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。